道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリーリスト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

このたび新型コロナウィルスの影響を受けて中止になった企画はいったいどのくらいあるのでしょう。おそらく個人レベルでも両手で数えられるくらい？　その星の数ほどあるイベント中止の影響で、今、私のカフェには爽やかな風が吹いています。ものすごい勢いなので、旋風と言っていいかも。ことの発端は３月末、ライダー&アルピニストのカフェのお客様、Tさんからのメールでした。彼が勤める会社が主催するハイキング会がコロナの影響で中止となり、ノベルティーとして購入した「無患子（ムクロジ）」が大量に余ってしまったので、できればカフェのお客さんで欲しい方に無料でお持ちいただけないかという打診でした。

本来ならば返品するところでしたが、制作元が知的障害者を支援している団体（就労継続支援Ｂ型事業所）からの納品とのことで引き取ったそうですが、変わりに配布する他のイベントもことごとく中止が決定しており、すべてを配布することは無理とのことでおおせつかりました。

実はムクロジという言葉を始めて知ったので、最初はハテナ？　写真でみたら小さいグッズだし、とても可愛いので、こういうのが好きなライダーさん多いかもと気軽に了承しました。しかし時は非常事態宣言発令で、埼玉のTさんが手持ちの３００個と説明のＰＯＰを持ってきてくれたのは、解除後の６／20のこと。見れば、もう驚き桃の木ムクロジの木です。ひとつひとつちゃんと説明もついて可愛い巾着袋に入っていますが、縫製してあるちりめんなどの生地は、赤・白・橙・黄・緑・青・紺・茶・紫・黒系と何十種類。柄もいくつもあり、見ているだけで楽しくなります。

「玉手箱とはこのこと！」と思ったムクロジたちとの初対面。Tさんが描いたPOPも可愛い。

今年2月にバイクで来たTさん。恥ずかしがり屋なのでモザイクですが、とてもカッコイイ山男ですよ。

地元「市民タイムス」に掲載された記事。県内来訪者のトップは「孫へ」でした。愛する者の無病息災がなにより。

説明には、「羽子板で突く羽根の黒い玉は、むくろじと言う木の種で、漢字で無患子と書きます。子供が患わないという意味がありまず」とあり、すぐにネット検索。硬くて黒い実はお数珠になり、果皮は水に浸すと泡立つ石鹸（サポニン）となり、虫が寄り付かない木でも有名とか。なんとこの時期にピッタリな！アマビエの次はムクロジブームかもと思っていたら、なんだかそれ以上。やってくるライダーや地元の常連客の方々が、みな家族や自分のためにと持ち帰り、すぐに追加をお願いすることに。ところが倉庫清掃の時に別の場所に移動してしまったらしく、１００個がやっと。それも底が見えてくるころに、再び探してくれた残りの５７０個がカフェに届きました。やったあ。けれど、ムクロジがやってきた翌日に地元の新聞社から「市民の広場の（私の作品）に手芸品や工芸品を紹介するところがあるのですが、何かありますか？」というタイムリーな問い合わせがあり、取材された記事が７／１に掲載されたので、近隣から読んだ方がたくさんいらして、さらにカフェは賑やかに。

でも、初めて来てくださった方が、「生まれたばかりの孫に」「近所のお年寄りに」「病気の友人に」など、それはそれは嬉しそうに手に取って帰る様は、こちらまで幸せになってしまいます。おまけに、中にはタダでは申し訳ないのでと、お菓子や飲み物、反対に手作りの小物入れやマスクなどを次々といただいて、こちらが恐縮しまくり状態に。本来ならばTさんにお渡しするところですが、ナマ物はしっかり私達のお腹に入っております。先日は、常連さんが持ち帰った家族分のお一人から直接連絡がありました。「お父さんからもらった翌日に私の妊娠が判ったんです。もう嬉しくて！」。そんな話が次々と報告され、ただの偶然とは思えないほどパワーを感じている時に、ダイアモンド☆ユカイさんの「ムクロジの木」の歌のことを、お客さんから教えてもらいました。ユカイさんが不妊治療の果てにやっと授かった我が子のために作ったこの素敵な歌。最近テレビでも頻繁に流れているそうですが、やっぱりムクロジブームとしか思えません。ユカイさんが子供の頃にはムクロジの木で育ったと語っていた話から、さらにここではムクロジの木を探そうブーム。私は「木を植えたい」と思って調べてみたら、新潟以南で育ち、長野でも大木になるそうです！

6月末に埼玉県からいらした高橋さんと宮下さん。あっという間に友達いっぱいできてだのもムクロジ効果？

で、つい先日、どうしても中が見たくなって、整備用工具を使ってカフェにいる人みんなで解体してみました。茶色の種皮の中には大きくて黒くて硬いこころ（羽根突きの実で、「核」）。そこからはペンチでは歯が立たず、化石の重い石を落として割ると、クリのような種子が現れました。なんと美味しそうなこと。こんな硬い殻を破って発芽することにも感動しきり。ひとつひとつの玉っころが、大きな夢と多くのご縁を育ててくれています。お盆にはなくなってしまいそうですが、私もたくさんの勇気を頂きました。Tさん、思いついてくれて本当にありがとう♪

都市計画の中の街路（特別編）
ポストコロナの都市と街路（その２）

東洋大学国際学部・准教授
志摩憲寿

ポストコロナの都市と道路をめぐる日本での大きな話題は何と言っても道路占用許可の緩和でしょう。６月上旬に緩和措置が講じられる以前から「三密」への対応として、「ＳＡＧＡナイトテラスチャレンジ」（佐賀市）や「ＮＵＭＡＺＵ ＯＰＥＮ ＡＩＲ ＮＩＧＨＴ」（沼津市）、「ＯＰｅｎ ａｉｒ ＳＡＫＡＢＡ」（大分市）、「ＳＴＲＥＥＴ ＴＡＫＥＯＵＴ ＰＲＯＪＥＣＴ」（仙台市）などの社会実験が見られましたが、緩和措置後１ケ月足らずでおよそ7割の都道府県・政令指定都市において対応され、道路空間を利用した具体的な取り組みが始まりました。一方、ロックダウンが明けて賑わいを取り戻しつつあるニューヨーク、パリ、バルセロナ、また、リトアニアの首都ヴィリニュスをはじめとする諸外国からも道路空間の利用を見直す動きが報じられており、日本の道路専用許可緩和の動きもこのような世界的なうねりに共振しています。

この道路専用許可の緩和は、「地方公共団体と地域住民・団体等が一体となって取り組む沿道飲食店等の路上利用」に対するもので、占用主体となる「地方公共団体と地域住民・団体等」には、地方自治体や道路協力団体、都市再生推進法人に加え、「地方公共団体を含む地域住民・団体等の関係者からなる協議会等」や「地方公共団体が支援する沿道飲食店等の路上利用の実施主体（商店街振興組合、商工会等を含む）」（一部省略）とされており、地方自治体と地元のパートナーシップによる取り組みが支援される仕組みである点に注目したいと思います。既に取り組みが始まったところでこの占用主体を概観してみると、千曲市や室蘭市、新潟市のように商店街振興組合が中心となっているところもあれば、甲府市では、市役所と商店街協同組合に合同会社まちづくり甲府も名を連ねています。岡崎市でも株式会社まちづくり岡崎や株式会社三河家守舎が占用主体となっています。また、国家戦略特別区域法に基づく特例が適用されている例では、北九州市でＫＥＹＡＫＩ ＴＥＲＲＡＣＥ ＹＡＨＡＴＡ、大丸有地区でＮＰＯ法人大丸有エリアマネジメント協会とお馴染みの？エリマネ団体が見受けられます。それぞれの取り組みにおいて、誰がどのように動いているか、時限措置の終了後も継続的に動向を見据えねばならぬところではありますが、現在の状況をみただけでも、様々な主体が道路空間の利活用に向けて動き出している様子がうかがえるでしょう。

国道でも大きな一歩（文京区千石４丁目にて）

今回の道路占有許可の緩和によって、道路空間を舞台とした「まちづくり」に向けた大きな一歩が展開されることを期待したいところ、引き続き動向を追いかけたいと思います。

参考文献：国土交通省（https://www.mlit.go.jp/）、ソトノバ（https://sotonoba.place/）

ハッと思いました

いつもならインフルエンザの流行っている時でも、マスクは使用していなかった自分でしたが、何がきっかけだったのか、思い起こせば、昨年末位から、マスクを使っていました。

あれから半年以上、厳しい時間を過ごして、色々と身辺状況は変わってきました。さすがに疲れた感が日に日にどヨオ～ンと押し寄せてきます。

兎に角今日までがんばってきましたので、ここで、「ハイ、解除です」と言われましても、鵜呑みにはできません。まさに、自分の判断で、本当の自己責任で動きたいと考えてます。

さて、未だに繰り返されるあおり運転、危険運転。自粛でイライラしていて・・などと馬鹿げた言い訳も耳にしますが、無免許運転は論外として、免許取得にあたって、車間距離保持の重要性、必要性は十分理解しているはず（？）。車間を詰めたり，クルマを寄せたり・・は、レースや映画の話で、非日常の出来事です。

道路に引いてある車線境界線。白線と空白が繰り返して引いてある線ですが、高速道路では白線８ｍ、空白５ｍで引かれています。これを参考にすれば必要な車間距離をとる事は簡単です。

・・にしても、ドラレコがこんなに普及して、言い訳無用なのに、まだやるか？運転技能の前に、おつむの機能に問題ありだ！

７月７日は七夕でした。織姫と彦星は、毎年一年間の思いを募らせて、一日遭うだけですが、それも天の川を挟んで・・。ソーシャルディスタンスの先駆けでしょうか。織姫と彦星のように、何光年？も離れろと言うわけではないのですよ、ドライバーさん！